

報道各社御中 ← 環境省広報室

兵庫県での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う野鳥緊急
調査チームによる調査の結果について
(H28.12.8 17:00)

兵庫県小野市で採取したカモ類糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことを受けて、12月6日(火)～8日(木)に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況等の調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

1 調査結果

○12月6日～8日にかけて、兵庫県小野市の採取地点周辺半径10km圏の野鳥監視重点区域内の渡り鳥の飛来地等の計15地点において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。野鳥の大量死は認められなかった。

○兵庫県等により調査期間内に野鳥監視重点区域内で回収し検査した死亡野鳥等は認められなかった。

(参考)

○観察された鳥類 57種

うち、リスク種1 4種(オオハクチョウ、キンクロハジロ、ノスリ等)

リスク種2 9種(オナガガモ、マガモ、カンムリカイツブリ等)

リスク種3 15種(ヒドリガモ、カルガモ、カワウ等)

*本調査結果は暫定値です。

*リスク種とは:「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、兵庫県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

※ 環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成28年12月8日(木)

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通: 03-5521-8285

代 表: 03-3581-3351

企 画 官: 東岡 礼治 (内線6475)

鳥獣専門官: 根上 泰子 (内線6676)